

代表:永井翔真(慶應義塾大学) 副代表:小林稜平(東北大学)

顧問:十亀昭人准教授(東海大学工学部建築学科)

設立:2015年6月

所属大学:大阪大、京都大、九州大、慶應義塾大、東京大東京工業大、東北大

東京理科大、日本大、日本女子大、室蘭工業大、早稲田大









HP

facebook @tnlab.sa

twitter @TNLab1

TNLとは

宇宙建築学サークルTNLは「宇宙で暮らすを実現する」を理念として活動している学生団体です。幅広い分野の学生が集まって宇宙建築について学び、 周知する活動を行っています。現在は現在は関東と東北の2か所を拠点に、北海道から九州まで様々な大学の学生が参加して活動しており、、日本全国 で宇宙建築のコミュニティを作ることを目標にしています。

宇宙建築とは

宇宙空間に存在し、人間が快適に暮らすことを目的に設計・建設される構造物のことです。現存する宇宙建築としてはISSがあり、月軌道上の拠点や月面 基地、火星居住施設などの建設が計画されています。

TNSA -Social Activity-

TNSAは宇宙建築を周知すること、宇宙での生活を身近に感じてもらうことを目的に各種イベントを行う活動です。

WorkShop

これまで愛媛県で高校生向けのワークショップや宇宙建築賞の展示会などを行ってきました。2018年は愛知県の半田空の科学館で第4回宇宙建築賞の 展示と「火星での暮らしを考えてみよう!」というテーマで小学生向けのワークショップを行いました。

宇宙建築賞

|2018年に第5回が開催された宇宙建築賞は、宇宙飛行士の山崎直子さんをはじめ多くの研究者や建築家の協力を得て開催されている宇宙建築の設計 コンペです。毎年、宇宙開発の話題にまつわるテーマが設定され、2017年の第4回では「火星住居施設」が課題となりました。第5回のテーマは「宇宙資源 開発施設」でした。開催の背景として、宇宙建築の周知やアイデアの振興・発信といった狙いがあります。





TNSP - Study Project-TNSPは宇宙で生活するためには、宇宙で構造物を建設するためには何が必要なのか様々な視点から学んでいく活動です。技術的な課題やその解決方 法などを論文や書籍を通して定期的に学んでいます。また、不定期で議論型のTNSPも行っています。

Mars City Design

アメリカで行われるmarscitydesignコンペへの出品を行う活動です。今年度のテーマは「MARS SPORTS」であり、TNLでは「Martian Yukigassen」と題 して火星の雪合戦施設を設計しました。現在は1次審査の段階であり、3月に発表される準決勝に選ばれれば2次審査に進出できます。

Think Space Habitat

株式会社OUTSENSEと共催する外部向け勉強会です。原則月1回の開催であり、2018年11月に行われた第1回ではOUTSENSEメンバーによる月居住の 可能性についてのトーク、2018年12月の第2回では電気通信大学で超人スポーツを研究されている野嶋先生を招いてのTNLメンバーとのパネルディス カッションを行いました。第3回は2019年2月17日に「宇宙建築×農業」をテーマに、株式会社インテグリカルチャーさんを招いてパネルディスカッションを 行います。



